

ウィズ通信

パパの家事・育児参画キャンペーン報告

男女共同参画センターの講座は、今まで女性のエンパワメントを目的に、女性を対象にするものが多かったのですが、平成23年度は、固定的性別役割分担意識の解消や長時間労働等の働き方の見直し、男性の地域や家庭への参画を目的に、対象者を男性に絞った取り組みを2事業実施しました。

●せつつで一番 パパの家事・育児自慢写真コンテスト

写真の募集期間は11月1日～29日で、36名の方から68作品の応募がありました。昨年度は27名40枚の応募で、2年続けて実施したことで市民の皆さんに周知されてきたことが伺えます。どの写真も見ていて微笑ましく心温まり、パパの家事・育児への参画が日々普通に行われ、子どもとの素敵な関係が写真からあふれ出ています。間もなくスーパーパパ賞など入賞者が決定します。3月10日のウィズせつつフェスタ2012にて入賞者の表彰式がありますので、お楽しみに！



市民審査賞投票の様子

摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつは・・・

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための目的施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



摂津市立男女共同参画センター情報誌「ウィズ通信」は2001年から発行してきた「ウィズ・レポート」をリニューアルし、年に2回、2月と8月に発行します。

●FJK公認 関西初！

せつつパバスクール～パパを楽しむ5つのスキル～

この講座は、平日(火曜日)の夜2回と土曜日の午前3回の連続5回講座。長時間労働が当たり前で土曜日も出勤という方も多い中、延53名の方が参加されました。ほとんどが30代で、センター主催講座初受講の方です。

5回の内容は「パパのワークライフバランス」「パパのための写真講座」「夫婦で子育て」「子どもとの関わり方」「パパ'sおにぎりプロジェクト&卒業式」です。

各回の講座で、受講生は、自分と仕事の関係や家族と過ごす時間のバランスを考え、プロの写真家から撮り方の極意を学び、ママへのNGワードを知り、子どもの成長に合わせた関わり方を初めて学ぶことができました。

最終回はママと子どもたち22名を招き、パパの作った豚汁、おにぎり、ポリポリ大根をみんなで食べ、10名が“パパ宣言”を発表して卒業式を修了しました。

この講座は、子育てについて新たな発見や知識・情報を得る機会になり、それぞれが今、そしてこれからできることを考え、地域とのつながりも予感できるものになりました。



卒業式終了後 全員集合！

パープルリボンキャンペーン報告

毎年、11月12日から25日は、女性に対する暴力をなくす運動の期間です。ウィズせつつでは、10月から12月にかけて、この運動に取り組みました。

パープルリボンキャンペーン実施事業

タイトル	日時	場所
大藪順子写真展 「STAND：性暴力被害者たちの素顔」	10月27日（木）～31日（月）	コミュニティプラザ エントランスホール
PANSAKU トーク&ライブ 「あなたは一人じゃない」	10月29日（土）	摂津市民文化ホール
ココロをつなぐハンドメイドの会	11月4日（金）～12月9日（金） 全6回	男女共同参画センター 交流室
オレンジリボン&パープルリボン キャンペーン展示	11月1日（火）～11日（金）	摂津市役所1階ロビー
	11月21日（月）～30日（水）	コミュニティプラザ エントランスホール
女性のための護身術 Wen-Do 講習会	11月26日（土）	コミュニティプラザ 健康増進ルーム

大藪順子写真展 STAND —性暴力被害者たちの素顔—

「きれいな写真やなあ」と見ていた人が、キャプションを読んでしばし無言になることも…。昨年が続いて、2回目の写真展開催ですが、今年は、PANSAKU のばんさんを含め、日本人サバイバーの写真も加わりました。性暴力に対する理解がなく、逆に被害者が責められることの多い日本社会で、被害者が実名や顔を出すということは大変なことです。この写真展や PANSAKU さんの活動は、誤解や偏見を正していくために大きな意義があります。



あなたは一人じゃない PANSAKU トーク&ライブ



PANSAKU は、ギターボーカルをつとめる「ばん」さんと、カホン&コーラスをつとめる「SAKU」さんの女性アコースティックデュオ。2008年4月に結成。2010年6月に、ボーカルの「ばん」さんが、自らのレイプ被害体験をもとに作った曲、「STAND」を発表。以後、各地の性被害者支援イベントでライブ公演をしてきました。

今回のトーク&ライブには、市内外から132人が来場。PANSAKUの歌声に魅了されました。ばんさんは被害者としての体験と想いを、SAKUさんは友人として支援者として寄り添ってきた経験と想いを語っていただきました。

ココロをつなぐハンドメイドの会

「女性に対する暴力をなくそう」という思いを込めて、パープルリボンの革ひもアクセサリーとタペストリーを編む

かぎ針編みのタペストリーは、DV防止の意思表示です。全6回の講座の中で手編みをしながら、子育て、夫婦、家族のことなど、日々の暮らしのことをおしゃべりし、「女性への暴力」について考えました。4年前に始まったタペストリーづくり。今年は、これまでタペストリーづくりに関わった有志が「ハート to ハンドメイドの会」（男女共同参画推進団体）となり、講師としてデザインや編み方の指導をし、受講生とともに作成しました。

講座の中で自分のためにパープルリボンをあしらった皮ひもアクセサリーも作りました。

タペストリーはウィズせつつフェスタ2012でこれまで作成した3作品とともに展示します。



オレンジリボン&パープルリボンキャンペーン展示



これまでに市民の皆さんが作成したパープルリボンタペストリーのほか、女性に対する暴力をなくす運動の紹介を行いました。DVを目撃することは、子どもにとって虐待にあたります。また、児童虐待の背景に、DVがあるというケースも多く、密接に関連する問題です。摂津市では、女性と子どもへの暴力を防止するための啓発事業に取り組んできました。また、11月は児童虐待防止推進月間でもあります。昨年に引き続き、今年も市役所1階とコミュニティプラザフリースペースにて、オレンジリボン&パープルリボンキャンペーンとして、パネル展示を行いました。

NPO 法人 UN Women 日本国内委員会・女性に対する暴力に「ノー」と言おうキャンペーン

「エイボン・女性のエンパワメント基金」助成金事業

女性のための護身術「Wen-Do 講習会」



11月26日（土）、10～80代の女性21名が参加しました。

Wen-Doとは、1972年にカナダで誕生した女性のための自己防衛プログラムです。女性への暴力（痴漢やレイプなどの性暴力、セクシャル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス、強盗など）から身を守るための方法を学ぶことで、自信を持てるようになることを目的に実施しました。

「自分の身は自分で守ること」の大切さを改めて感じました」「自分の持っている力を実感し、少し自信がもてました」などの感想を受講生からいただきました。

「せつつ女性大学 2011～自分らしい生き方、働き方を考える～」 実施報告

樋口恵子さんを講師に迎え7月2日、「人生100年時代の新しい生き方、働き方」をテーマにした公開講座から「せつつ女性大学 2011」がスタート。12月6日の卒業式まで全10回の講座を終了しました。

30名でスタートした女性大学は、前期で4名が修了され、後期に進まれた23名のうち、卒業式では21名が『わたし宣言』の発表を行い、修了証書を手に女性大学を卒業しました。

認知症の方を支えるつどいの場づくり、子育て中の親子が気軽に参加できる簡単クッキング教室の開催、笑顔のある居心地のいい家庭づくり、ママサークルから地域の活性化、高齢者の働き方の提案などを、それぞれの言葉で『わたし宣言』として発表しました。これからの暮らしの中でぜひ活かし取り組んでいってほしいと思います。

＜修了生の声＞

- ・大学と聞いて尻込みしていた私ですが、『わたし宣言』を必ず成功させます。
- ・大学の受講により生活にメリハリができました。内容も思っていたより充実しており、ハードでした。でも、受講のみなさんがそれぞれ素晴らしく、とても有意義な時間でした。
- ・みなさんのスピーチはどれも重みがあり、また、人間としての優しさが感じられ素敵でした。
- ・大学で学んだことをこれからの生活の中で活かしていきたいと思えます。『わたし宣言』の発表はとても緊張しましたが、達成できた喜びを味わうことができました。



ウィズせつつ情報室より

情報室では「男女共同参画」や「子育て」など15のキーワードで図書分類をしています。特に男女共同参画関連図書や女性作家の作品、女性の生き方にふれる小説やエッセイなど豊富に揃えています。図書の貸出も行っています。ぜひ一度のぞいてみてください。

「せつつ女性大学」講師の著書もあります！

「元気になる会議～ホワイトボード・ミーティングのすすめ方～」

ちよんせいこ／著 解放出版社／発行

元気になる会議にするためにどうしたらいいのか。現場で悩みながら、工夫を重ねて編み出した方法が「ホワイトボード・ミーティング」。会議のゴールを共有しながら、意見を聴き合う関係が生まれ、合意形成や課題解決に向け、効率的、効果的な進行が可能になります。



「まじくる介護 つどい場さくらちゃん」

丸尾多重子／監修・上村悦子著
雲母書房／発行

「まじくる」とは丸尾さんの造語で、いろんな人が混ざり合い語り合い、しゃべり合うこと。そんなまじくる場が「さくらちゃん」です。

編集・発行 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

●開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日：水曜日・祝日・年末年始

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL：06-4860-7112 FAX：06-4860-7113

ホームページ：http://with-settsu.jp e-mail：danjyo@with-settsu.jp

